

## レッツ コミスク Let's join community school

### 1 「できることを、できるときに、できるひとが」が合言葉

昨年6月25日に行われた第2回学校運営協議会で、新型コロナウイルス感染防止の取組に苦慮していることを学校から話され、早速7月8日からボランティアによるトイレの消毒などの協力が開始されました。

火曜日と金曜日は職員が行っていますが、月曜日、水曜日、木曜日はボランティアの消毒等の支援が教職員の負担の軽減になっています。

作業後、ボランティアのみなさんは相談室に用意されたお茶でゆっくりしたあと帰宅されます。

### 2 教科指導にもボランティアの力

住宅が増えている赤井南地区ですが、分校であった時代から栽培活動を通じて教科指導の支援を進めてきています。

2年生の生活科、3年生、5年生の社会科で地域の農業の先生が活躍しています。子供たちに食べ物の大切さを教える体験を大事にして、「子供たちの笑顔が見たい」、「子供に関わられて嬉しい」、「頼られることが嬉しい」、そんな気持ちで取り組んでいます。今後も、先生や子供の時間に合わせ、学校が必要とする活動のお手伝いをできる範囲でしていきます。

### 3 学校ボランティアが活動しやすい環境づくり

赤井南小学校の学校ボランティアには、相談室の空いている時間を活用して、ボランティアルームが用意されています。

そこには、ボランティアルームの表示がされ、活動をスムーズに進めるために、活動用具がまとめられているため、忙しい先生方の手を煩わせることなく、あまり気を使うことなくスムーズに活動を進めています。

活動の終了後、部屋に用意されているお茶セットでくつろいでいただきます。

## 地域の実情に合わせた「地域安全の取組」 第9号

石巻市との境に位置する赤井南小学校は、その実情に合わせて地域安全の取組に力を入れています。

昭和62年の開校当時は右の写真のような状況でしたが、東松島市や石巻市の発展とともに住宅がたくさん建てられるようになり、不審者や交通事故が危惧されていました。

赤井南小学校の学校運営協議会では、地域安全についての協議が重ねられ、地域のボランティアによる安全安心の活動が進められています。



開校当時の赤井南小学校周辺

#### 南っ子安全ネットワーク会議

年1回～2回開催される南っ子安全ネットワーク会議、今年度は11月24日（火）に行われました。会議のメンバーは、防犯実働隊、民生委員、駐在所長、育成会長、矢本二中学生指導主任、PTA会長、PTA副会長などです。

会議では、①生徒指導関係いじめ・不登校の状況と対策、②生活安全関係、そして③保健室からの報告のあとに、地域の安全安心に関する情報交換が行われました。

「子供たちの挨拶は、とても気持ちが良い。」「子供たちからの清掃ボランティアへの運動会招待状がうれしかった。」「SNSの問題は小さいうちから指導すべき。」など活発に意見交換がされました。



#### 朝夕の登下校見守り



マイナス5度の凍てつく朝も、地域のボランティアが子供たちの登校を見守ります。

赤井南小学校の交通安全ボランティアは、自治会長やPTA会長などの保護者でおよそ15人です。

学校前など学区内は、国道の混雑を回避するためか通勤の車両が頻繁に通過します。そんな状況にボランティアが立ち、子供たちの安全な登校を見守っています。

また、不審者から子供たちを守る朝夕の巡回も続けられています。

#### ボランティアへの感謝の会



2月9日、今年度の学校ボランティアへの感謝の会が開かれました。全校児童を代表して、5年生45人が栽培や交通安全、掃除ボランティアへのプレゼントや太鼓の演奏などで感謝の気持ちを伝えました。

ボランティアの代表からは、「感動した。6年生でも頑張ってる。」の声が多く聞かれました。

# 全国コミュニティ・スクール研究大会(栃木デジタルフォーラム)

大会テーマ

## 多様化する社会に求められるコミュニティ・スクールの未来像 ～新しい日常における地域とともにある学校の姿～



市街を流れる巴波(うずま)川と蔵の風景

栃木市は栃木県南部の中核都市と位置付けられ、県名発祥の地です。江戸時代の商業の発達から多くの蔵が残り、小江戸文化の風情漂う「蔵のまち」としても親しまれています。

主催・・・全国コミュニティ・スクール連絡協議会/文部科学省/栃木市教育委員会  
後援・・・栃木県教育委員会/栃木市/栃木市PTA連合会

\*フォーラムで発表予定だった4分科会の全12事例を動画で配信します！  
全国大会ならではの各地の実践がここに集結！

※新型コロナウイルス感染拡大をうけて、一次案内より実施内容・方法大幅に変更(デジタルフォーラム、全体会の中止等)しています。

### 第1分科会「学校と地域との連携・協働による魅力ある学校の姿」

- 発表者① 栃木県下野市 国分寺東小学校 教諭 高山 芳三 氏
- ② 岡山県浅口市 寄島小学校 校長 安田 隆人 氏
- ③ 栃木県小山市 小山市教育委員会 教育総務課 築島 淳 氏  
小山城東小学校 学校運営協議会 会長 永田 健一朗 氏

### 第2分科会「小中一貫教育とコミュニティ・スクールによるこれからの教育の姿」

- 発表者① 大阪府能勢町 能勢町教育委員会 学校教育課長 辻 新造 氏
- ② 栃木県栃木市 大平南中ブロック 大平南小学校 校長 高木 紀之 氏
- ③ 東京都三鷹市 三鷹の森学園 学園長/第三中学校 校長 宮城 洋之 氏

### 第3分科会「学校と地域で創る地域の姿」

- 発表者① 栃木県壬生町 藤井小学校 校長 瓦井 郁夫 氏
- ② 山形県小国町 小国町教育委員会統括的な地域学校協働活動推進員兼CSディレクター 渋谷 洋司 氏
- ③ 栃木県栃木市 国府南小学校 学校運営協議会 委員 後藤 春美 氏 委員 青柳 徹 氏

### 第4分科会「高校・特別支援学校等におけるコミュニティ・スクールの姿」

- 発表者① 大阪府富田林市 富田林中学校・高等学校 中学校長 大門 和喜 氏 首席 永岡 佳典 氏  
教諭 藤森 卓磨 氏
- ② 神奈川県横浜市 あおば支援学校 校長 横澤 孝泰 氏
- ③ 岡山県玉野市 玉野商工高校 校長 田村 繁樹 氏



栃木市マスコットキャラクター『とちまる』  
(ゆるキャラforチルドレン2016 グランプリ受賞)

### オンデマンド配信

配信開始 令和3年**2月26日**(金)  
午後1時スタート!  
(3月26日 午後5時 配信終了)

視聴希望の方は、フォーラムメルマガにご登録ください。メルマガ登録は、2月1日～2月26日の間に下記URLまたはQRコードよりお願いします。

[https://manabi-mirai.mext.go.jp/2021/01/post\\_27.html](https://manabi-mirai.mext.go.jp/2021/01/post_27.html)

学びの未来 検索



視聴無料

検索やQRコードを使う方法など、メルマガ登録した方のみの限定配信のようです。

宮城県東松島市矢本字上河戸36-1

電話: 0225(82)1111 内線1251

FAX: 0225(82)1845

電子メール:

c-school@city.higashimatsushima.miyagi.jp

東松島市教育委員会コミュニティ・スクール推進係



東松島市教育委員会  
コミュニティ・スクール推進係

## 第9号

# レッツ コミスク

Let's join community school

2月は、赤井南小学校の紹介です。

### 目次:

第3回学校運営協議会開催 1ページ

ボランティアの力でコロナ対策 2ページ

教科指導にもボランティアの力 2ページ

学校ボランティアが活動しやすい環境づくり 2ページ

地域の実情に合わせた地域安全の取組 3ページ

栃木デジタルフォーラム 4ページ

### 第3回学校運営協議会 開催

12月、第3回学校運営協議会が開かれ、学校からは児童の様子や行事、校舎解体・改築の進捗状況の説明が行われました。

協議では、次年度の学校経営案に対する意見とボランティアの人数を増やしていく方法について議論が行われました。

保護者など地域の様々な人と協力し、児童の見守りを強化していく予定です。「やれる範囲でやれることをやる」をモットーにし、交通安全指導だけではなく、学校備品の整理などもサポートしていくような内容の話し合いとなりました。



赤井南小の取組

- 「できることを、できるときに、できるひとが」が合言葉
- 教科指導にもボランティアの力
- 学校ボランティアが活動しやすい環境づくり

### ご存じですか?

“新型コロナウイルス感染症を理由に差別や偏見などでつらい思いをしたら”

▶ **不安や悩みを受け止める相談窓口はこちら**

- 24時間子供SOSダイヤル 0120-0-78310
- 子供の人権110番<法務省> 0120-007-110
- いのちの電話の相談 0120-783-556
- チャイルドライン(18歳までの子供が対象) 0120-99-7777
- 新型コロナこころの健康相談電話 050-3628-5672



輝くひとみのきみが見たい  
きみの輝く未来が見たい